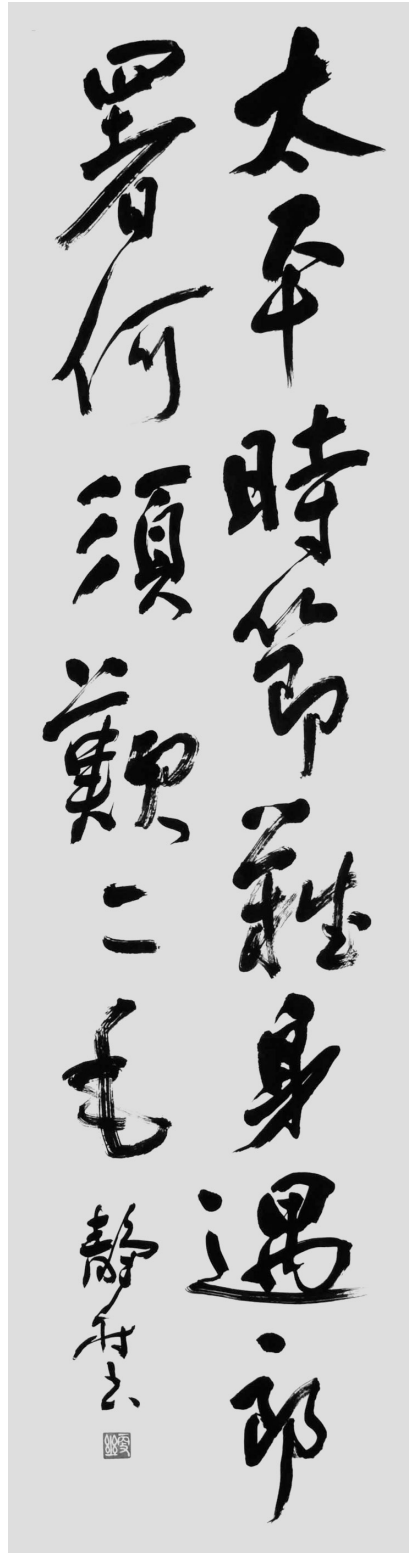


A

鈴木静村書

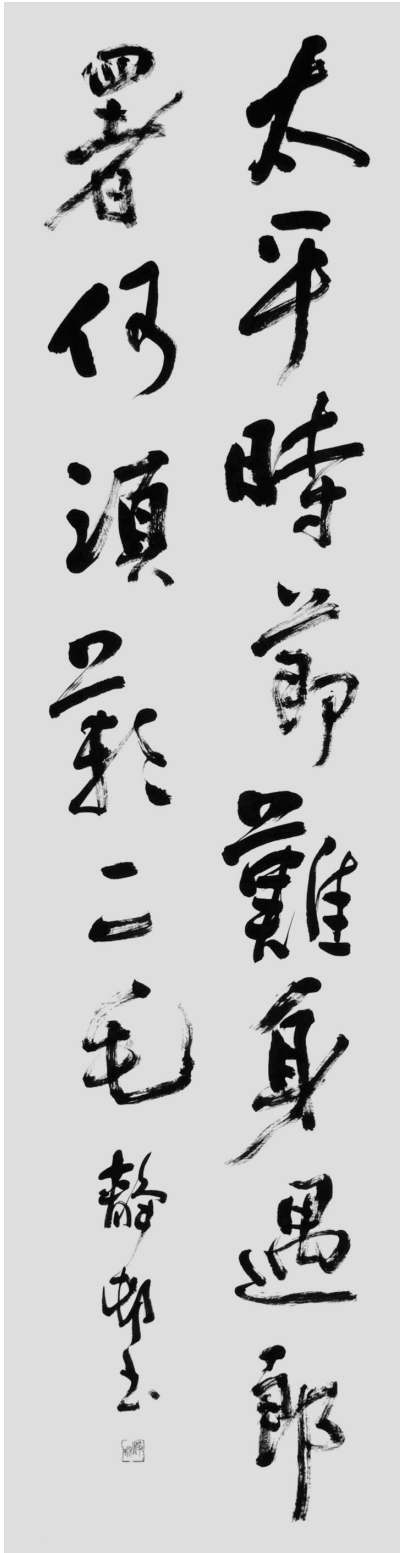
太平時節難身遇 郎署何須歎二毛 (韓愈)
 太平の時節身の遇うこと難きも、郎署何ぞ須いん二毛を歎ずるを。



B

概観

毎回のことながら、書いている時はもう一枚もう一枚と、夢中で書き大体出来上がり、吊して選出作を決める。さて解説のため改めて眺めると、あちこちとボロが見えてくる。悪い点は「悪い」といって明記し理解して貰うことにしている。みなさんもぜひ掛けて眺め、素直に自評してほしい。この自評こそ進歩への第一歩。



主な文字について

太 点は左払いに付けても離しても可。私は付けがクセ。平 B何紹基を拜借。難 行草体多様、字典で確かめを。遇 Aしんにようとの接筆は失敗。離したい。郎 末画はのびやかに決めたい。署 A 者 三、四画の重ね書きは蘭亭序にあり。歎 行草体字典参照のこと。二 二画に味の工夫を。毛 筆順による変容を。

訳：太平の時節は出世もむずかしいが、役所で白髪まじりの頭を歎くこともなからう。

予告 (六月二十二日締切)

小徑荒唐人不到

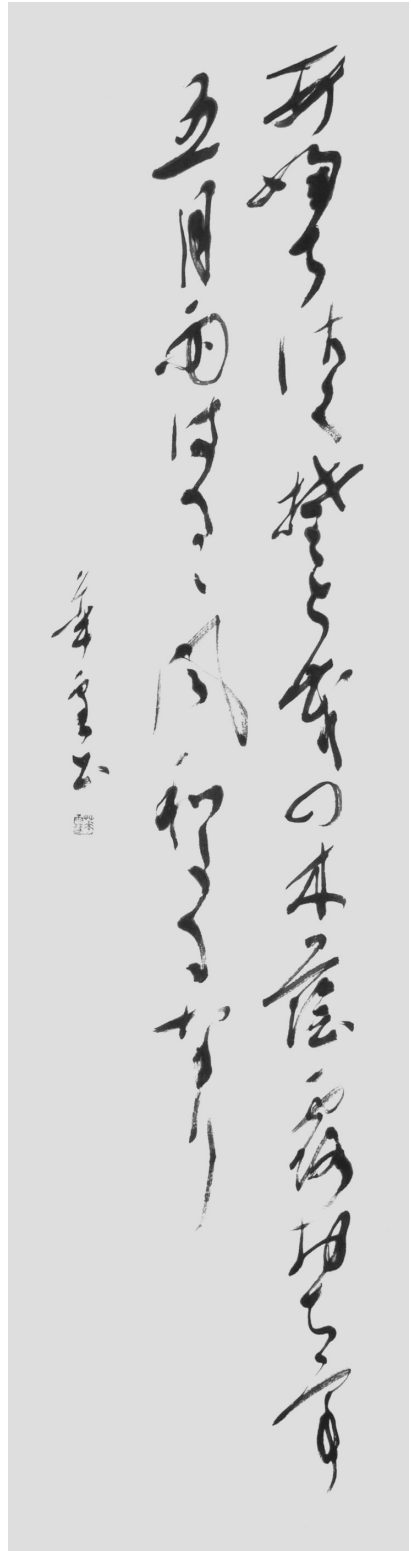
閉門間學換鷺書 (黄庚)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

A

平岡華雪先生書

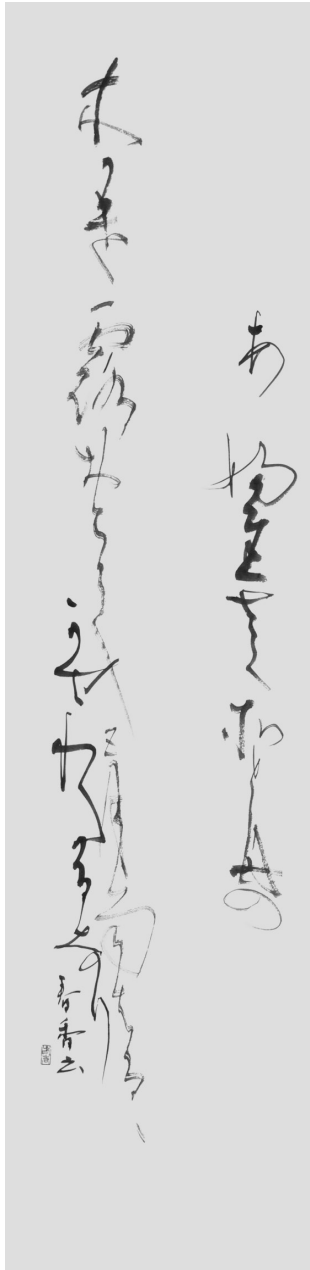
あふちさくそともの木かげ露をちて五月雨はるゝ風わたるなり (新古今和歌集 前大納言忠良)
あ婦ち佐久楚と茂の木蔭露おち亭五月雨はるゝ風和多るなり



B

石原春香先生書

あ婦遅さ久所と母の木可遺露おち天五月雨者るゝ可せわ多る奈り



三回に分けて散らし書をの二回目です。華雪先生の作品の行が近づいているのを見て升色紙のからみを書いてみたいと思いました。絹糸のような細い線に墨量の多い線がからまった作品です。

学 び 方

この作品は二行をぐっとつけています。古典では針切がこの形態の代表的なものです。一行目の文字、流れを受け二行目がどうなっているでしょうか。大きい文字(字幅のある字)のとなりに小さい字(字幅の狭い文字)と考えられています。墨つぎは「和多るなり」です。この作品の素晴らしい部分(私感ですが)「はるゝ風和多るなり」です。一行目はお行儀よく書いてあり、二行目のこの部分は「」とエンタンスの柱になっています。また「風」の濁筆は一つの文字の中の墨の變化、筆の開閉が見事です。この一字だけでも幾度も書いて練習して華雪先生に近づいて下さい。

予告 (六月二十二日締切)

夏の夜はまだよひながらあけぬるを雲のいづこに月やどる覧 (古今和歌集)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

平岡華雪先生書

画中に詩有り(東坡志林)

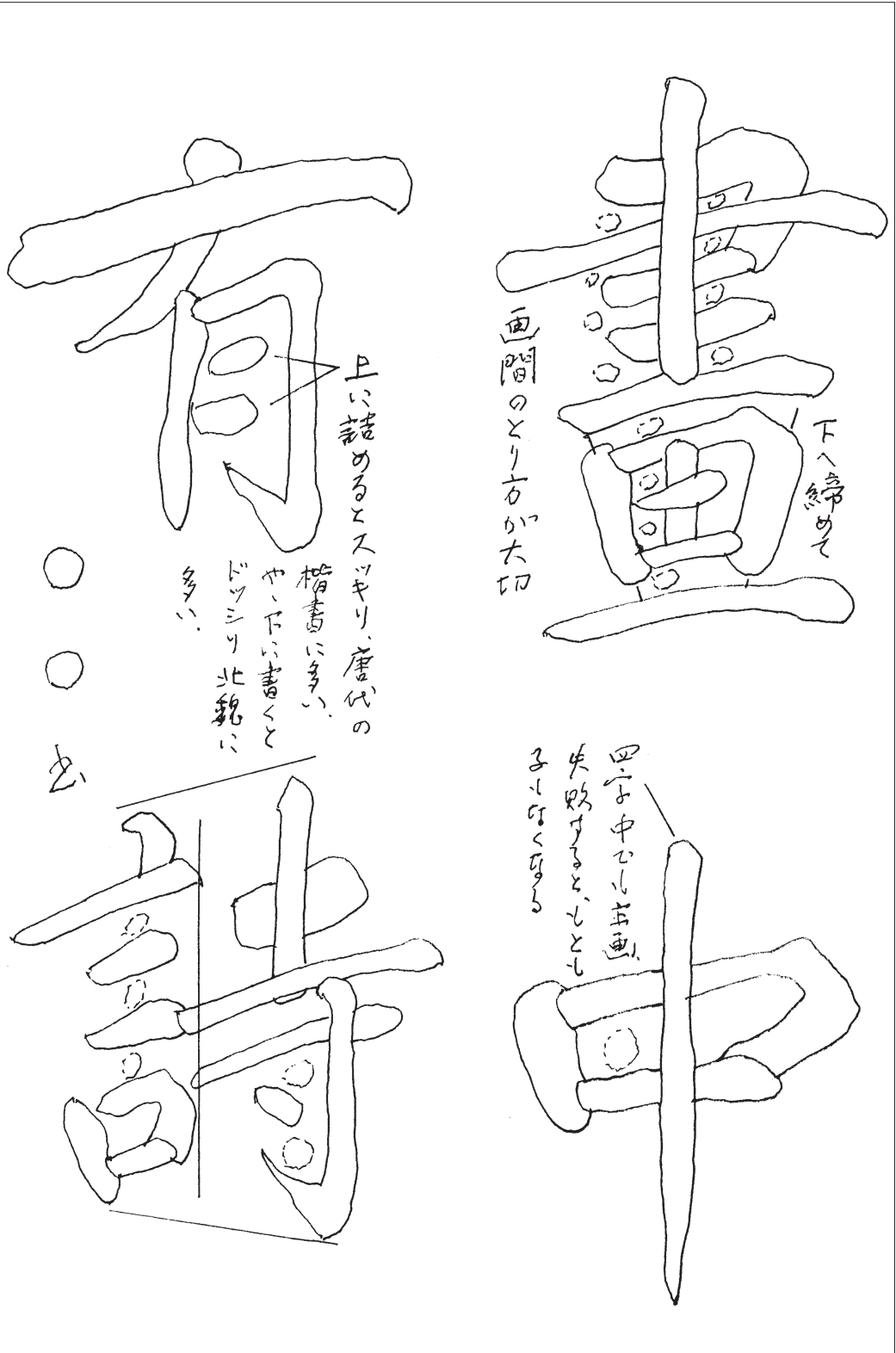


訳：絵の中に詩の趣をたたえている。

▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

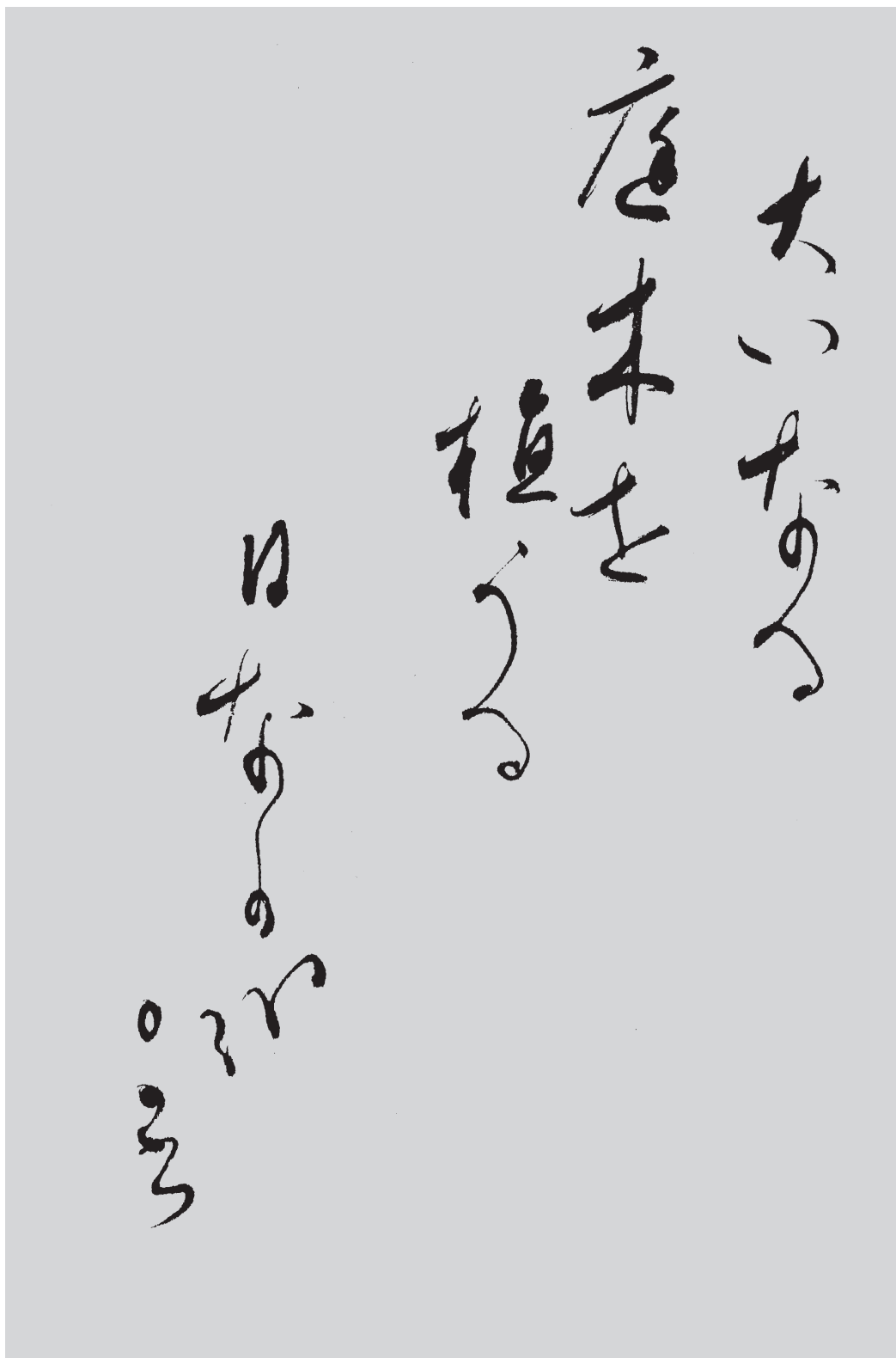
- ①漢字部
- ②支部名または都道府県名
- ③氏名または雅号
- ④新

会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



平岡華雪先生書

大いなる庭木を植うる日永かな(壺天)



▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ① かな部
 - ② 支部名または都道府県名
 - ③ 氏名または雅号
 - ④ 新
- 会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

運腕大きく
リズム的に

右群、左群各行頭は字が
漢字、細線、留線と書き入
軽快味を表出のこと。連綿は
三よ直綿ミヶ所、初歩段階者は特に
習熟のこと。放ち書き、部分には次字への流れに留意、孤立しないように。
同じ文字へる、な）意識せず、リズムを大切に。

のとの相違

点
「かな」
哉の字体
三十一点と見え
と見え

内藤香瑶先生書

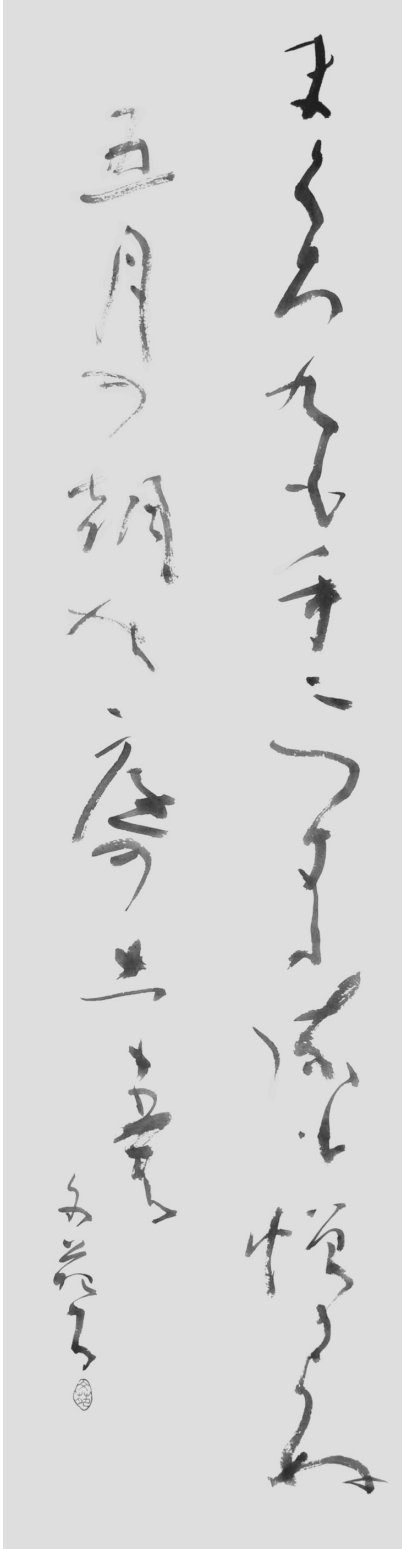
楊柳風流烟草在 杜韻春恨夕陽知 (錢畫謙)
 楊柳風流烟草在 杜韻春恨夕陽知 (錢畫謙)



訳：楊柳のよき風情とかすめる春草、ほととぎすが鳴き春は暮れ行き夕日がさす。

良知文苑先生書

まくろくも手に附きたるも憎からぬ五月の朝の庭の土かも (窪田空穂)
 まくろくも手に附きたるも憎からぬ五月の朝の庭の土かも (窪田空穂)

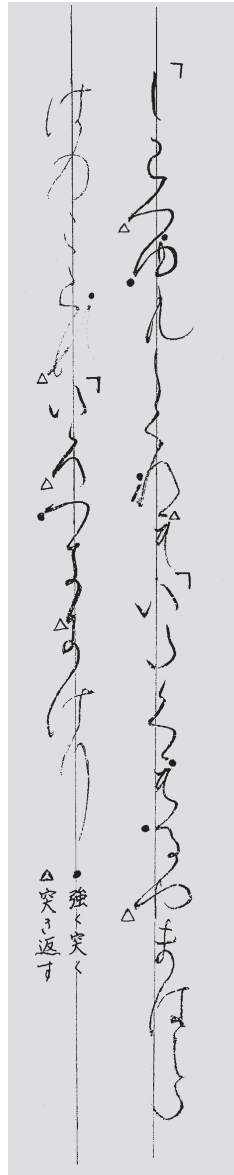
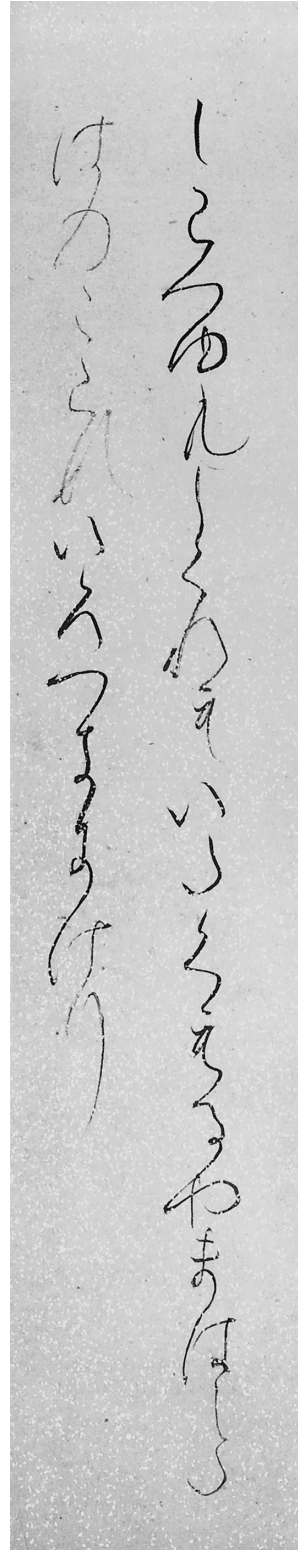


- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

題 課 部 書 臨 幅 条

川上 香 蓉 先 生 担 当 高野切第二種 伝紀貫之筆（二玄社）

※条幅臨書部は出品料無料です。



● 強くと突く
△ 突き返す

（しらす露も時雨もいたくもる山
は下葉のこらずいろづきに
けり

しらすゆもしくれもいたくもるや
まはした
はのこらすいろづきにけり

△古筆について▽

古筆とは「古人の筆跡」という意味で、かなの場合には平安時代中期から鎌倉時代の初期にかけて書かれた美しい筆跡の事を指し、そのほとんどは和歌集ですが、一番多い書写内容は第一番目の勅撰和歌集で、紀貫之らによって編まれた「古今和歌集」です。

古今和歌集は、二十巻で一一〇〇首ありますが、

高野切の中で現存するものは断簡を含めて九巻だけ

で、それも完備しているのは巻五・巻八・巻二十だ

け、他の六巻は断簡に分割され分蔵されています。

現存する九巻の書風から推定して三人の寄合書きと

考えられ、第一種・第二種・第三種と名付けて区分

されています。筆者は全て伝紀貫之となっております

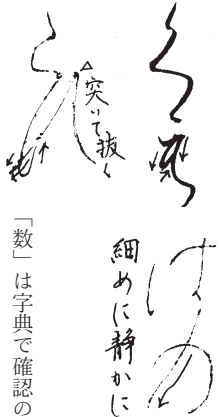
が、高野切第一種については、学者の研究結果から

源兼行であると推定されています。

△留意事項▽ 筆路（↓）



止まらず



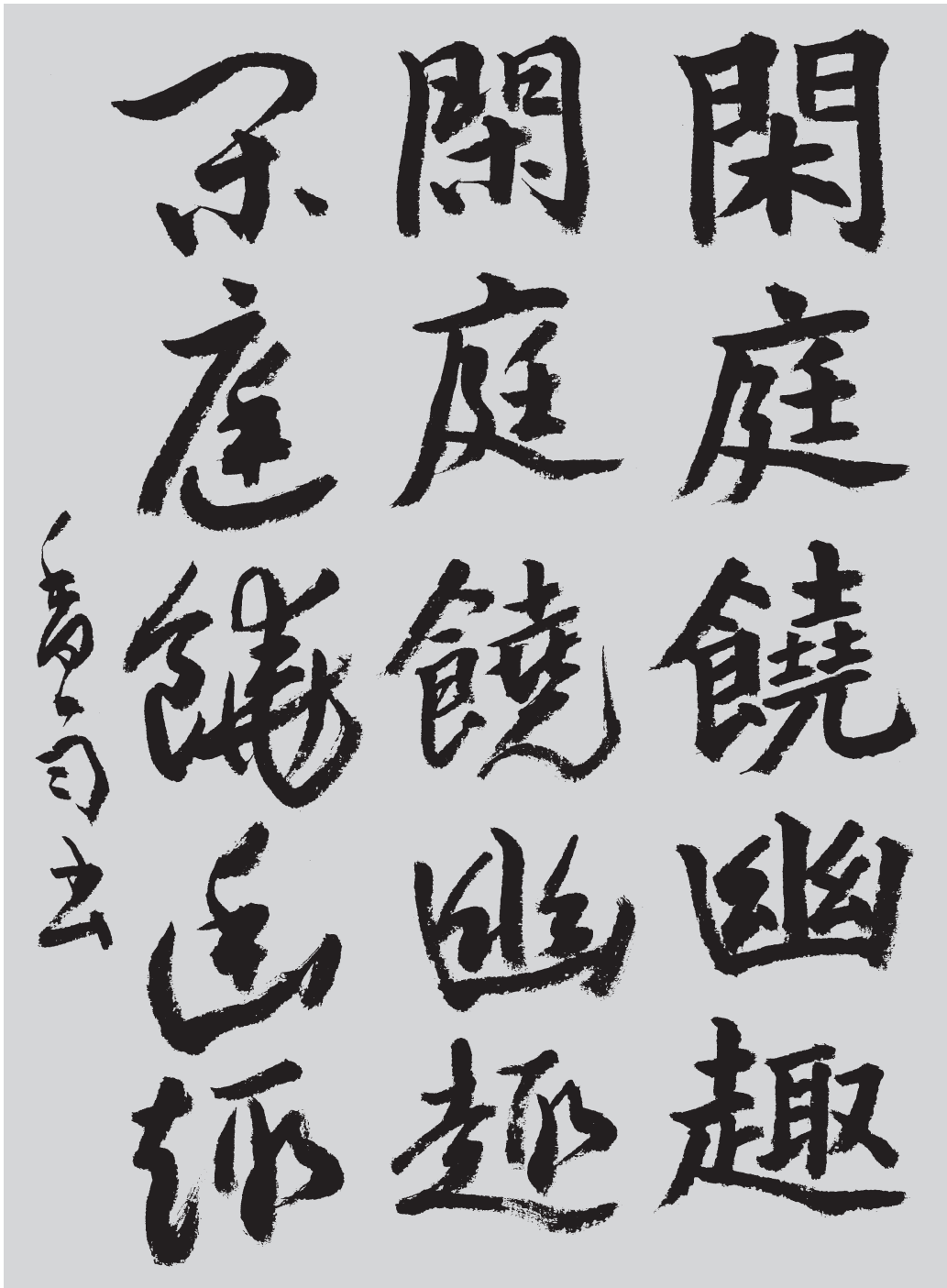
「数」は字典で確認の事

・行の間隔はバランス良く

◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

酒井香雨先生書

閑庭饒幽趣（祝振）
閑庭幽趣饒し。

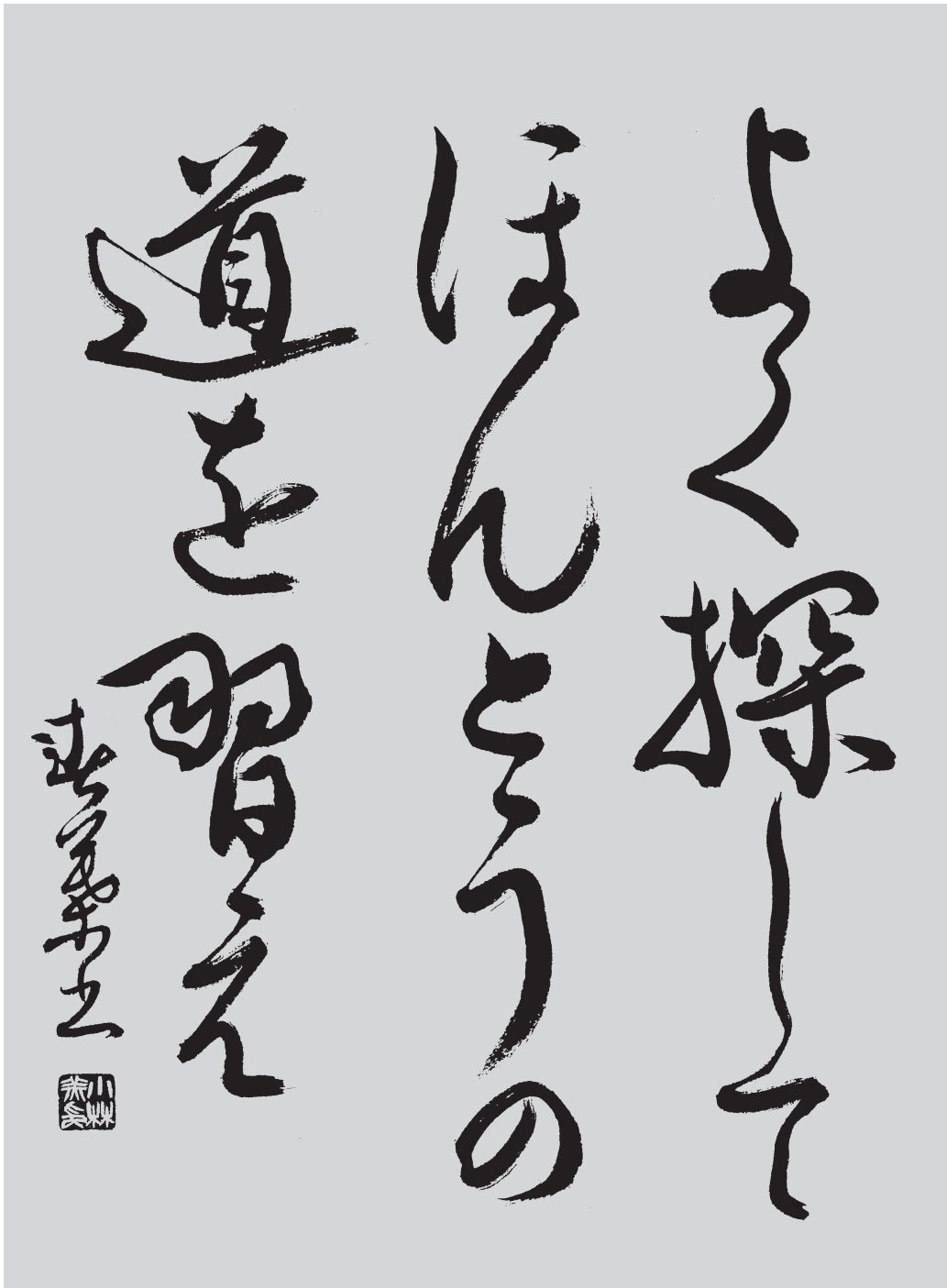


訳：閑かなる庭にはいい知れぬ幽清の趣が存している。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

小林 春葉 先生 書

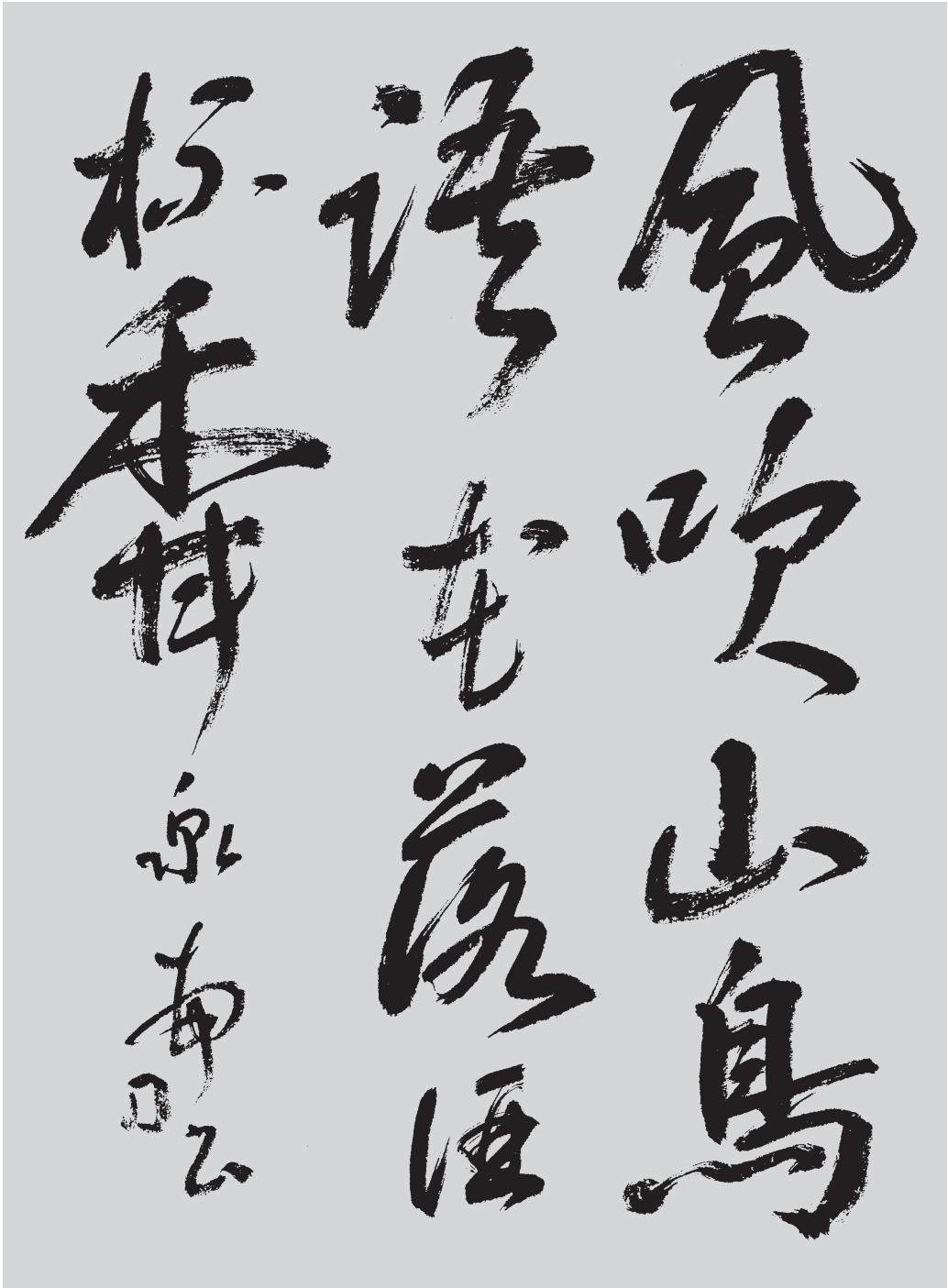
よく探してほんとうの道を習え(宮沢賢治)



◆随意部参考として出品してください。

加藤泉邨先生書

風吹山鳥語 花落酒杯香(楊魏)
風吹かぜふきて山鳥さんちようかた語り、花落はなおちて酒杯しゅはいこうぼ香し。

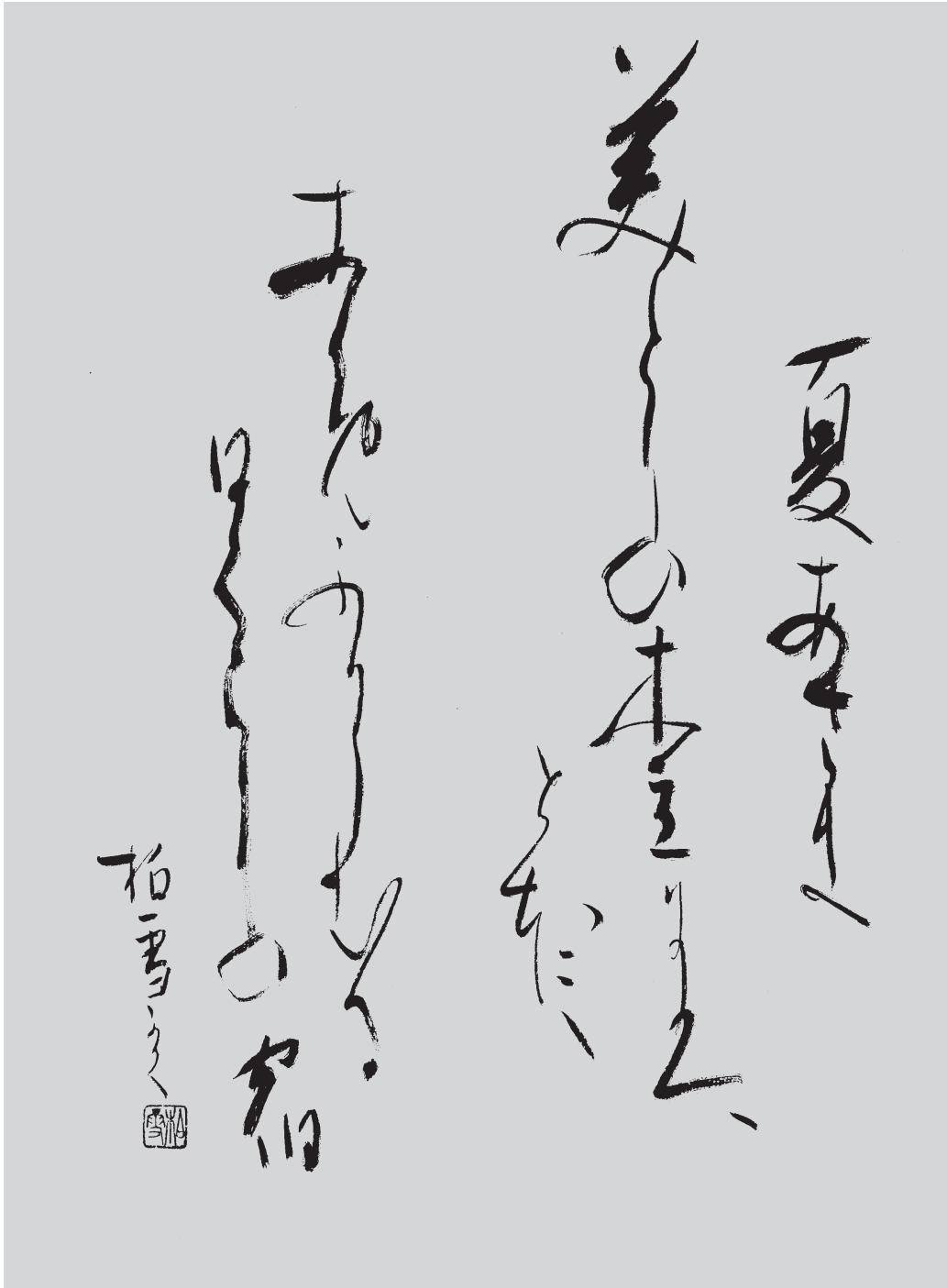


訳：吹く風は山中に鳴く鳥の声をこちらへ送り花は杯の中に散って酒が香ばしい。

添削又は手本希望者は本会規定により、加藤泉邨先生（〒325-0064 那須塩原市豊浦町84-31）に直接お申し込みください。

元澤 柏雪先生書

夏あさき緑の木立庭とほみ雨ふりしむる日ぐらしの宿（風雅和歌集 藤原為兼）
夏あさ^き支美^みとりの木立^に尔盤^はと本三^はあ免^めふりしむる日ぐらしの宿



添削又は手本希望者は本会規定により、元澤柏雪先生（〒164-0012 中野区本町1-8-3）に直接お申し込みください。

石原春香先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

いそいで目を凝らしても、魚は藻の
なかに隠れてしまったのか、一瞬の
輝きを見せて姿を消したままで。

登山電車は山の麓から急勾配の
軌道へかかり、いくつも短いトンネル
にはいり、明るいとこへ出る度毎
に淡谷は深くなっていく。

正教授 創作部門 (自運作品、自由形式、硬筆用紙使用) で出品。審査料九〇〇円

課題1 (初段階以上)

登山電車は、山の麓から急勾配の軌道へかかり、いくつも短いトンネルにはいり、明るいとこへ出る度毎淡谷は深くなっていく。

「つゆ草」 川崎長太郎

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。ペンまたはボールペン (黒色) を使用のこと。青インクは不可。
- (2) 段級欄は本人が記入 (色は黒) はじめて出品される方は私製の紙 (3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新受験料九〇〇円
- (3) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと)。
- (4) 課題1 六〇〇円
- (5) 課題2 三〇〇円

課題1 石原春香先生

課題2 〒三七〇〇〇八七

高崎市楽間町二三四ノ二一

課題2 (初段階以下)

いそいで目を凝らしても、魚は藻のなかに隠れてしまったのか、一瞬の輝きを見せて姿を消したままで。

「いつもと同じ春」 辻井 喬